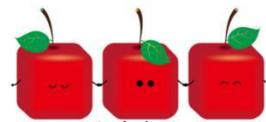


つながる学び

「1210あかりんアワー」の名前の由来にもなっている、アカデミック・リンク・センターのマスコットキャラクター。



あかりん

アカデミック・リンクのこれまでとこれから

「教育力」・「学習力」向上プロジェクト

【1210あかりんアワー】

～昼休み開催のショートセミナー～

学生を対象として、昼休みの30分間で開催しているショートセミナー。教員の研究や教職員の外国生活、大学院生による話や学内の紹介などテーマは多岐にわたる。千葉大学の学生と教職員の距離を縮めることを目的として実施しており、全学的な協力を得て、教員・職員・大学院生の連携で発信し、学生にとって多様な学習の契機となっている。

「教員が研究の楽しさを語る」

週2回（火・金）開催

12:10～12:40（30分間）

授業期間中[4月～7月、10月～1月]

附属図書館N棟 1階プレゼンテーションスペース

火曜日と金曜日で異なるシリーズを開催



入退場自由なオープンな場所
通りすがりに参加可能

2012年4月開始以来

180回開催

来場者各回30名程度



図書リスト
登壇した先生
による選定
当日配布



あかりんアワーコーナー
図書展示

録画 デモ
館内貸出用
iPadで視聴可

「外国に暮らす」（教職員）

「千葉大学で○○するには？」（教職員）

「ALSAカフェ」（学習権担当の大学院生）

「千葉大学経済人倶楽部『絆』」（卒業生）

「ALC（アカデミック・リンク・センター）企画」

来場者

2014年11月実施 回答数94 8回実施 ※1人につき、1回のみ回答

11月に実施したアンケートによると来場者は学部生が多いが、大学院生、教職員も参加し、所属学部も多岐に渡り、幅広く参加していることが分かる。

参加するきっかけについても聞いたところ、「ポスター」46名に次いで「通りすがり」27名という点がオープンなスペースならではの特徴を反映していた。

大学院生11 学外5 職員5 教員3



企画・運営

教員と職員の協働

話し合っ、企画内容を決定、開催する。

あかりんアワー担当



アカデミック・リンク・センター教員 図書館職員

【企画から開催までの流れ】

1. 年度末に翌年度1年間の開催計画を大まかに立てる
2. 1～2か月程度前までに登壇依頼を行う（教員・職員で分担）
3. ポスター掲示、Webでの広報を行う
4. 「教員が研究の楽しさを語る」はブックリスト掲載図書の準備を行う（未所蔵資料は購入）
5. 当日、会場準備、司会を教職員で分担
6. 「教員が研究の楽しさを語る」は先生紹介と図書をL棟2階のコーナーに展示